

令和7年度
山形県立保健医療大学保健医療学部
一般選抜

総合問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は4ページ、解答用紙は3枚です。
試験開始の合図とともに、直ちに問題冊子、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
5. 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホッチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

以下には、①患者の病院受診時にみられる場面と内容、②生成 AI ができることの例が記載されている。次の問いに答えなさい。

問 ①から一つの場合を選び、その場面で生成 AI がどのように活用できるか述べなさい。さらに、それが医療従事者と患者の双方にどのようなメリットをもたらすか、併せて 200 字程度で述べなさい。なお、生成 AI の使用に関するセキュリティ面（個人情報保護等）の安全性は担保されているものとする。

① 患者の病院受診時にみられる場面と内容

場面	内容
受付	病院到着後、患者が診察券や保険証を提示し受付を済ませる。 受付スタッフが手続きを行い、問診表を渡して記入を依頼する。
診察	患者を診察して症状を確認し、診断や治療方針を説明する。 医師は診察中・後に診察記録を電子カルテ（診療録）に記録する。
検査・治療	医師から処方された指示に基づき、血液検査、画像検査、心電図検査を受ける。医師から指示を受けた看護師が注射や処置を行う。医師から指示を受けた療法士がリハビリテーションを行う。
薬の受け取り	薬剤師が医師からの処方箋を確認して薬を用意し、薬の飲み方や注意点を説明する。

② 生成 AI ができることの例

生成 AI は、与えられた指示（プロンプト）をもとに、学習したデータから特徴を取り出して新しいもの（コンテンツ）を作る技術であり、例として次のようなものがある。

- ・ 文章生成：ブログ記事やレポートを書くことができ、対話型 AI（例: ChatGPT）は人と自然に会話することができ、会話内容のリアルタイムな記録・要約も可能である。
- ・ 画像生成：指定した内容に合わせた絵やデザインを作り出すことができる。
- ・ 音声生成：文字から音声の生成、自動応答、翻訳、ナレーションに利用できる。
- ・ 動画生成：文字や画像をもとに動画を作ることができる。

以下の図は、統計数理研究所が1953年から5年ごとに行っている統計調査の一つで、日本人のものの見方や考え方とその変化を社会調査によってとらえようとするものである（調査対象：20歳以上の日本人男女）。次の問いに答えなさい。

問 この図で示されている日本人の性格（長所）について、特定の10年間に着目し、その間の変化を簡潔に説明しなさい。またその変化に影響を与えた要因を日本の社会情勢と関連づけて推察し、300字以内で述べなさい。

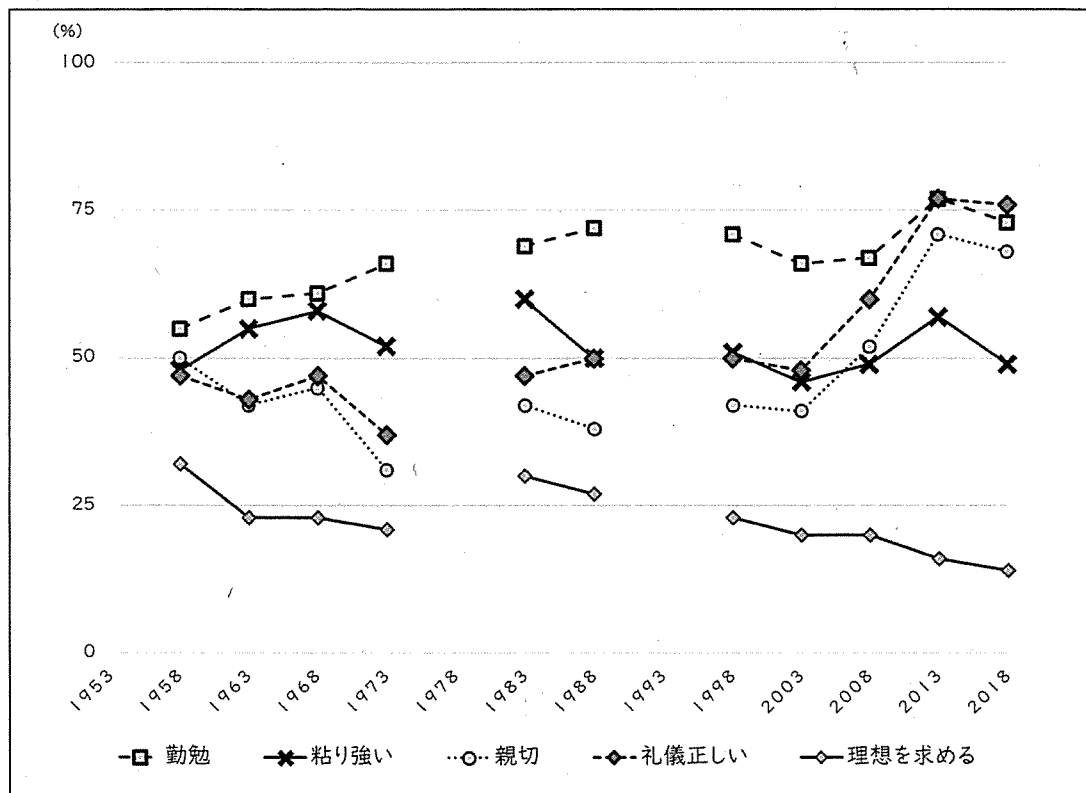


図 日本人の性格（長所）

出典 統計数理研究所 日本人の国民性第14次全国調査基礎集計表

(<https://www.ism.ac.jp/survey/KSResults/Tables/Section9.html>)

注1) 1953年・1978年・1993年の調査時にこの設問は調査されていない

注2) 複数の選択肢を選ぶ設問のため、数値は当該選択肢を選んだ%を示している
(上位5項目のみの表示に改変)

以下は悪口について書かれた本から、一部抜粋された文章である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 悪口とはどのようなものであると述べられているか、80字以内で要約しなさい。

問2 本文に述べられている悪口からは、社会に具わる一つの性質が読み取れるが、その性質とは異なる性質も社会には存在する。異なると考えられる性質を1つ挙げ、それぞれの性質がどのように異なり、人々の社会生活にどのような影響を与えるのか、200字程度で説明しなさい。

悪口を言われて困ることのひとつは、「なめられる」ことです。もちろん、悪口を言うてくる人は、標的のことをなめているからそうするわけですが、それ以上に、他の人からもなめられるようになる、というのが問題になります。

たとえば、学校の教室で、周りに人がたくさんいるとき、EさんがFさんから「メガネくん」と失礼な感じで呼ばれたとします。Eさんはちょっと嫌だなと思ったけど、特に何も言いませんでした。このとき、Fさん以外の周りの人たちも、もし「メガネくん」の呼び方が気に入ったら、自分たちもEさんをそう呼ぶようになるでしょう。一度試してみても大丈夫だったことは、二度、三度やっても大丈夫なはずだからです。

一度悪口を言われてそれをスルーすると、その悪口は言ってもよいということになり、他の人からも同じことを言われてしまいます。さらには、こいつはそういう軽い扱いをしていいのだ、適当に扱っていいやつなんだ、というふうに認定されてしまいます。悪口はそれが怖いのです。

山の奥深くで独り、穴に向かって「王様の耳はロバの耳ー！」と叫ぶだけでは、悪口を言っているようには聞こえません。悪口は社会の中で言うものです。部活やクラスルームといった、小さなコミュニティだとしても、複数の人間が関わり合って暮らすひとつの社会です。その社会に与える悪影響から悪口を見てもいいかと私は考えます。

「王様の耳はロバの耳」のおはなしも、穴に向かって叫んだことばが、うわさとして広まることによって物語が展開するのです。

さて、悪口でよく使われる「きもい」や「うざい」ということばは、比較をするための、「～い」で終わることばの仲間（形容詞）です。たとえば、「高い」なら「AがBより高い」（比較級）「Cが一番高い」（最上級）といったように使われます。同じように、誰かが誰か「よりうざい」や、誰かが「一番うざい」と言うことができます。

「高い」とか「低い」はそれ自体ニュートラルなことばです。高ければ良い、ということはないですし、低ければ悪い、ということもありません（中年になると、健康診断で「尿酸値」が高いとすごくイヤですが、「給与」が高いのはすごく嬉しいものです）。

一方、「きもい」は「気持ちが悪い」を、「うざい」は「うざったい」を省略したもので、どちらもそもそも否定的な評価を表すことばです。ですので、「うざい」人は「うざくない」人よりも「良くない」「悪い」あるいは「劣っている」ということになります。

さらに、「うざい」を使う人は、普通の場合、自分のことは「うざくない」と思っているのでしょう。すると、誰かに「うざい」といった悪口を言うことは、標的は自分より劣っているのだ（自分は標的より優れているのだ）、と言っていることになります。

優劣という順番は、「上下」のランキングとしても理解することができます。悪口を言うことは、自分が暮らすコミュニティのランキングの中で、自分の方が標的よりも上位に立っているのだ、標的はより下位にいるのだ、ということを表明します。悪口は、一般的に、標的が自分よりもランクが下だということなのです。

自分が上、標的が下、というメッセージが悪口の基本の形になるため、いわゆる「人間以下」とみなされる、他の生き物を指すことばが頻繁に使われます。たとえば、部活をやっていて、足が遅い人に向かって「なめくじ」とか、弱いチームを「ザコ」と呼ぶことを考えてみましょう。

なめくじはもちろん歩みがとても遅いわけですが、移動が遅いものならば、オーストラリア大陸だって少しずつ移動しているわけですから、標的に向かって「オーストラリア大陸か！」と言ってもいいわけです。オーストラリア大陸の方が、なめくじよりも移動速度は遅いのですから、むしろより適切なはずです。

しかし、それだと悪口に聞こえません。私たちは普通、オーストラリア大陸が人間より上か下か意識したことはないでしょう。しかし、なめくじはぬめぬめした「下等な」生物とみなされています。なめくじと人間に同等の価値があると思う人はいないでしょう。

また、「ザコ」は「雑魚」のことで、つまり、いろいろな魚を指しています。雑多な魚、取るに足らない、名前もない小魚扱いをしている、ということになります。

もうひとつ大事なのは、悪口には、「うっとうしい」「なめくじのように足が遅い」といった具体的な内容があるわけですが、ランクを下げるという観点からは、その内容そのものがそれほど大事というわけではない点です。標的は人間ですので、そもそも、なめくじでもなければ、おさかなでもありません。しかし、当てはまらないから問題ない、とは誰も思わないでしょう。そのような人を軽んじた表現を使って標的を呼ぶという事実そのものが、社会的な影響を与えるわけです。おさかな扱いしても標的がへらへらしている、また周りが何も言わないなら、他の人も標的をそういう扱いにしてもよいだろう、ということが導かれてしまうのです。

出典 和泉 悠.『悪口ってなんだろう』, 筑摩書房, 2023, pp. 25-29. (一部改変)